

## 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第2回豊島区みどりの基本計画策定委員会	
事務局（担当課）		公園緑地課	
開催日時		令和4年3月24日（木）17時00分～19時00分	
開催場所		豊島区役所9F 第二委員会室	
議題		<p>1 報告事項</p> <p>(1)第1回策定委員会のおさらい（資料1）</p> <p>(2)前回のご意見を反映した資料の修正：みどりを取り巻く課題（資料2 P1～4）</p> <p>2 議 題</p> <p>(1)みどりの将来像と基本方針について（資料2 P5～28）</p> <p>・基本理念・みどりの将来像・計画の体系・計画の目標・基本方針</p> <p>(2)将来像を実現するための施策について（資料2 P29・30）</p> <p>・施策体系・施策ごと取組</p> <p>*概要の説明後、意見交換</p> <p>3 その他</p> <p>・連絡事項、次回について</p>	
公開の 可否	会議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開	傍聴人数 0人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由	
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開	
		非公開・一部非公開の場合は、その理由	
出席者	委員	<p>学識経験者 東京農業大学 教授 入江 彰昭</p> <p>学識経験者 千葉大学 准教授 竹内 智子</p> <p>関係団体 豊島区観光協会 会長 近江 正典</p> <p>関係団体 豊島みどりの会 紫垣 敬子</p> <p>関係団体（企業）西武造園株式会社 東京支店 沖 三奈絵</p> <p>区民委員 前野 益子</p> <p>区民委員 久崎 諒也</p> <p>区職員 環境清掃部長 高桑 光浩</p> <p>（敬称略）</p>	
	その他		
	事務局	<p>豊島区 都市整備部 公園緑地課 片山 裕貴 横田 雅彦 菅井 章</p> <p>株式会社 総合設計研究所 石井 ちはる 池本 加奈子</p>	

# 審 議 経 過

No. 1

会議の結果

●**主な意見のまとめ**（⇒：意見に対する委員の意見・事務局の回答）  
報告事項（第1回策定委員会のおさらい、前回のご意見を反映した資料の修正）、及び議題（みどりの将来像と基本方針について、将来像を実現するための施策について）を事務局から提示し、意見交換を行った。

## ■みどりを取り巻く課題

### 【アイポイント活動について】

- ・池袋西口ロータリー周辺でアイポイント活動を行っているが、周辺の店にも水やりなど協力していただけると良い。（前野委員）  
⇒西口駅前広場は公園区域ではなく駅前広場で、民間の方を中心に清掃活動、プランターの水やり、植栽等をやっている。地域ぐるみで協力体制、地域の担い手が増えると良い。（事務局）  
⇒大宮のストリートプランツプロジェクトでは、沿道を造園業者と協働でテナントやオーナーが協力して植木を育てている良い事例がある。（沖委員）

### 【樹種について】

- ・豊島区に公園は常緑樹が多く個性がない。地域の人意見を聞きながら個性を持たせていくと特徴がはっきりしてくると思う。（前野委員）  
⇒花の咲く木は防災に弱い。お寺にシイノキが多いのは防火のため、秋にイチョウが葉を落とす頃シイノキが境内を守る。サクラの木は見栄えは良いが災害時簡単に燃えてしまう。バランスを考えなければいけないと思う。（近江委員）

## ■基本理念・みどりの将来像

### 【キーワードについて】

- ・「公園がまちを変える」というのは良いキーワードでよく周知されており、みどりの基本計画の方でもその言葉を活用して「公園がまちを変える、みどりがまちを変える」など2行位のキーワードを引き出せると良いかもしれない。（竹内副会長）  
⇒このキーワードは他の区とは違った特徴だと思う。豊島区のみどりの基本計画の特徴を出す上で工夫できると良い。（事務局）

### 【基本理念について】

- ・3つの基本理念の中で「五感にうったえる」「自然と人間との共生」とあるが、様々な障害をお持ちの方がいる中で、視覚障害者、また聴覚障害者にとってはどうなのかということ、五感にうったえるという基本理念を大事にしながら基本方針に反映できればよいと思う。（入江会長）

## ■計画の目標

### 【みどりとの関わりの目標について】

- ・新たな目標「活動場所を増やします」について、同じ場所で複数回やっても1箇所という定めにする、内容が質的に評価されない。また、他の目標は目標値が何%というのが数値化で決まっているが、どのようなゴールになっていくのが理想か。（沖委員）  
⇒まずは活動場所を拡大していき、+αで回数を増やしていきたい。最終的な目標としては164カ所全ての公園・児童遊園を目標とするが、1年にひとつずつでも増えていき、最終的に全てが活用していただける公園になるというのがベストと考える。（事務局）

### 【公園の再整備について】

- ・公園の再整備箇所数を「年間2公園以上目指します」というのは、どのよ

会議の結果

うな基準で決められたのか。(沖委員)

⇒区内164カ所の公園・児童遊園のトイレ単体の改修、池袋駅周辺の大規模な公園の改修が終了した。公園施設は様々な要素があり長寿命化計画に基づいて点検整備を行っており、予算の関係もあるが、これからは既存の老朽化した中小規模公園を、年間2公園以上を着実にリニューアルすることを新たな目標としている。(事務局)

・他県の事例で公園の植栽に地域の方や学生と一緒に参加しており、愛着につながるため地域の方を巻き込むと活性化すると思う。(沖委員)

⇒小さいお子様方も交えて緑を植えていけばそれが自分の成長とともに樹木が育っていくことで愛着が湧くと思う。(事務局)

## ■基本方針

### 【隣接区とのみどりのネットワーク図について】

・みどりのネットワークとは何を指すのか。この図で見るとみどりがつながっているように見えるが、例えば西口側の緑と東口側の通りは池袋駅で寸断されていたり、また学習院大学に森があるが単独の森で、豊島区を上空から見ると島のように緑があるだけで、島と島をどうつなぐか、理論上のネットワークではなく本当に木と木がつながることが必要である。160余りある公園と公園がどのようにしてつながっていくのか、例えば庭先の木でも構わない。街路樹だけでなくそれぞれの家の庭先にある木やプランターに植っている木が、木と木があまり離れずに隣同士でつながって次の固まりにいけるようなネットワークができると良い。鬼子母神(※)の森と大門のケヤキ並木の参道のケヤキはつながっていると思っていたが上空から見ると切り離れている。もっと大きな雑司ヶ谷霊園や護国寺の緑もつながってそれがグリーン大通りにつながっていけば南池袋公園やイケ・サンパークにもつながる、そういうできそうなところから具体的にやっていくとよい。それぞれが独立しているものをつなげたい。具体的にここここをつなごうという意識を持った方が良い。(近江委員)※「鬼」の字は一角目の「ノ」がない

⇒隣接区の緑の基本計画や東京都の計画の中に反映して、軸というものを豊島区だけではなく広範囲に見てネットワークのつながりを考慮したほうが良いと考えて図にしている(例えば新宿区の「風のみち」等)。公共施設の改修で、近くに公園や児童遊園がある場所には外周部を歩道状空地にして緑を植えることで緑の連続性を重視した整備を行っている。緑のネットワークをこのような理想的な形につなげられるように1本ずつ木を増やしていけたらと考える。(事務局)

・飛石を人がまたいでつないでいくのと同様に、生き物が森をつないでいくということもある。結ぶというのもハード的に緑を結ぶというのあれば、生き物同士を結ぶ、協定花壇で人と人とを結ぶといった様々なものの結び方がネットワークという意味合いかと思うので、意識付けるものの将来都市像として見ていただければと思う。あとは地域別方針図の中でコミュニティのネットワークを示せると良い。(入江会長)

・HPを見たところ、新宿区はエリアを作ってそれを結んでいくなどの面白いグリーン結び方をしている。結んでいくという意味に色々な意味があるというように考えれば結び方も色々な方法が見えると思う。また、前回提案の100軒の家が1本ずつ木を植えると街を冷やすという話も、緑がつながるという意味もあると思う。プランターでもベランダでも、草花だけでなく木を植えるということをは心がけていくと、「風のみち」がより充実すると思う。(前野委員)

・公共の緑から学校の樹木、寺社境内地の緑、大学の樹木、民有地で本数がどれぐらい増えたか将来的には可視化できるようになれば良い。(入江会長)

会議の結果

## 【将来ネットワーク図について】

・協定花壇は図に落とされているか。ネットワークとか活動を広げていくというのであれば活動拠点をネットワーク化するとか、一つ一つがグループになって広げていくようなつながりがあっても良い。(前野委員)  
 ⇒活動拠点と将来ネットワーク図が重なるとより分かりやすいのでは。ネットワークの意味合いには物理的なネットワークもあれば、連携とか交流とか、住民同士人と人のネットワークもある。(入江会長)  
 ⇒将来ネットワーク図では全体像の概要を示している。協定花壇は別図で示しているが、次回の委員会では地域別の方針を示したいと考えており、地域別の図に活動拠点を具体的に落とし込むと分かりやすいと考える。地域特性の把握をしていただくというような図にも活用できると思う。(事務局)

## 【学生の活動参加について】

・豊島区は学生数の多い大学が複数あり、学生もみどりと関わっていけると良い。今の計画の中で大学生が緑を増やす活動に参加貢献していけるような機会はあるか。大学生の関わる活動の様子の写真や絵、説明を載せると分かりやすく、大学生を活動に巻き込めると思う。(久崎委員)  
 ⇒区内の中小規模の公園活動に大正大学が協力していただいたり、文京区にある日本女子大では雑司が谷周辺で参画、ご意見をいただいている。野菜を植えられるコミュニティガーデンづくりに協力してもらっているところもある。池袋西口アイポイント活動は元々立教大学の学生がやっており、また、豊島岡中学高校では学校前の道路上で花壇活動をしている。緑を増やすというよりは公園などを活用して地域のつながりをより密にしてもらおうという試みで学校に参画していただいている。まちづくりということを考えている学生は多く、今後立教大学前の立教通りのコミュニティ道路事業が始まることもあり、大学にも協力していただいで活動できるようにしていきたい。(事務局)  
 ⇒区民や企業、大学が連携して活動に参加できるような仕組みづくりを今後進めていくにあたり、地域別の方針の中で見えてくると良い。(入江会長)

## 【(仮称) パーク・グリーンインフラの取組のイメージについて】

・図の中の対象が小さいお子さんと親、学生、中高生などをイメージするが、高齢者の対象がなく、様々な世代に渡る図示があればより区民全体を対象にしていると分かる。(前野委員)  
 ⇒学生、高齢者、農福連携、福祉など様々な多世代の方々が関わる利活用のアイデアが図に散らばっているとよい。(入江会長)

## 【インクルーシブについて】

・豊島区は障害がある人、外国人が多く、基本方針にインクルーシブの概念を入れて欲しい(基本方針5 地域の人に愛され親しまれる公園を育てるの項)。公園の再整備においては遊具だけではなく、例えばトイレを使いやすくするための多機能化、ジェンダーへの配慮やアクセスルートの段差解消などが必要であり、公園全体の使いやすさについては国の方でもガイドラインを改定しているところなので取り入れてほしい(目標2)-2公園の再整備箇所数の項)。(竹内副会長)  
 ⇒東京都から今年度の公園補助制度で採択を受けており、インクルーシブ遊具を取り入れながら改良していこうという動きがある。多機能トイレの整備に伴う段差解消なども目標として検討したい。(事務局)  
 ⇒海外の方が多いということもあるので多文化共生というキーワードを含めると良い(基本方針5 地域の人に愛され親しまれる公園を育てるの

会議の結果

項)。 (入江会長)

## 【公共的空間について】

・民間が整備する公開空地や区民広場と隣接した広場など、公園整備の他にも民間の緑化によるカテゴリーにはまらない空間が増えている。一般の方から見ると公園と同じように使える空間はとても大事である。目標に「公民連携による一般の方が楽しめる、新しい公共的空間を整備します」というようなことを入れた方が、豊島区が今増やしている空間には合うと思う。民間の緑化が屋上緑化だけだともったいなくて、その場所に入れるか入れないかで異なる。ただ見えている木が植わっているだけの所と、公開空地のように公園と区別がつかない場所だと区民の実感としての満足度が違うため、カウントできるような指標があると良い。(竹内副会長)  
 ⇒今後再開発事業などの新しい公共的空間、公開空地も多く整備されると思われ、公園というカテゴリーではないが多くの方が利用できる空間となるため、指標としてカウントできると良い。(事務局)

## ■施策体系・取組

### 【情報の共有について】

・活動内容などが豊島区のホームページやアプリで見られると良いという意見があったが、区民が見やすい工夫をするとネットワークに参加しやすくなると思う。(前野委員)

### 【街路樹の管理について】

・区内の街路樹管理について、グリーン大通りは理想的な質の高い管理がされていると思う。豊島区の方針によると思うが、現在は通りごとに管理で別々の企業が参入している。複数年での包括管理が緑の質を上げるためには最も良いと考えている。この一帯はこの企業が責任を持って維持管理をしていくというようなエリア分けの仕方を検討した方が良いと思う。(沖委員)

⇒新宿区では新宿中央公園でエリアマネジメントにつながるような事例がある。公園のマネジメントがエリアにまで広がっていく、あるいは企業が参画していくような豊島区の事例はあるか。(入江会長)

⇒多くは進んでいないが、エリアマネジメントという言葉を使うなら、区の庁舎があった跡地に再開発で劇場と公園(ハレザ池袋、中池袋公園)を整備し、エリア全体管理を指定管理者が行っている。またグリーン大通りは豊島区の顔になる場所でマルシェなどを出展しているが、歩道部分を改修した時に低木植栽をより個性的なものに変えて、予算をつけてメンテナンスしている。ただ競争入札で委託業者を決めるため、ある一定期間とまとまった範囲で企業にお願いすることができると良いと思うが、予算的な規模や選定の方法をきちんと決めなければならず、現状ではまだ対応できていない。(事務局)

### 【街路樹診断について】

・豊島区の街路樹診断カルテはあるか。(入江会長)  
 ⇒現時点では1本1本のカルテというのではなく、街路樹診断を来年度予算化して行うことを考えている。街路樹は近年、酷暑で枯れており、これからカルテを作成して老木化した樹木の早期処置または伐採、新植をしていきたいと考えている。(事務局)

会議の結果

## 【公園の利用規制について】

・子供へのヒアリングで協定花壇について聞いたところ、そこに入ると怒られるからつくるのはやめてほしいと言われたことがある。だれも遊んでない公園をみるとボール禁止など禁止事項が多い。子供の遊びを大事にする視点を忘れないでいただきたい。（前野委員）

⇒子供の遊びはプレイパーク事業が関係してくる箇所であり、事例をトピック的に取り上げても良い。（入江会長）

## 【植樹について】

・環境清掃部では、みどりに関して植樹に力を入れており、「グリーンとしま再生プロジェクト」や10万本植樹を達成し、新たな目標を決めて行っている状況だが、植樹についてもみどりの基本計画に記載していただきたい。環境基本計画や先に改定した豊島区基本計画でも「グリーンとしま再生プロジェクト事業」について記載しており、整合性を図りたい。（高桑委員）

⇒基本方針の中で検討していきたい。（入江会長）

・例えば豊島区で生まれた種や、公園の実生の芽を集めて、豊島区のシングルシードの植物として、それぞれの家庭のプランターで里親として育てていただき、ある程度育ったものを公園で植樹するというようなプロジェクトを作れば、芽が出た時から自分が関わっているということで愛着が湧き、関心を持ちやすいと思う。（近江委員）

⇒もともとソメイヨシノの植木の産地であり、木を育樹したものをさらに植樹する。区民と共に育つ緑ということに慣れた豊島区の地域性を踏まえた取り組みかと思う。（入江会長）

⇒豊島みどりの会で目白の森の手入れをしており、実生がたくさんあって、それをポットに植えるというのはとても良いアイデアだと思う。もう少し人手がほしい。（紫垣委員）

⇒その辺りはこちらでも検討したい。（高桑委員）

⇒企業としても参入できるというところがあると思う。板橋区の小豆沢公園工事の際、橋を架けるための掘削工事が多くなる中、イロハモミジやエノキの実生が多くあったため、こちらの提案でそれを保護した。本当は住民による植樹や提供を考えていたがコロナで叶わず、植栽帯に返すこととなった。豊島区の公園改修時に造園の企業の方で保護活動を行い、そのようなところで参加させていただければ、より区民と企業との関係がつながると思う。（沖委員）

・土自体を作ることは難しいが、公園の落ち葉を利活用して豊島区に足りなければ周りの区からグリーンバンク的に活用することも考えられる。他の23区とのつながりもでてくる。実生から育てるのであれば土もこだわっていけると良い。（入江会長）

## 【フリーマーケットについて】

・あるご家庭の門の前に<さくら草どうぞ>と置かれたものをいただいてきたものが今綺麗に咲いている。区で企画して公園へ持ち寄り交換できる取り組みもあっても良い。交換会で愛着もわいたり、次回は提供したりもできる。人手を使わず有志でできることも考えていかなければと思う。

（前野委員）

⇒フリーマーケット的なことは豊島区の公園でやっているか。みどりのフリーマーケット的なもの（グリーンマーケット）が定期的に公園で交換し合うような取り組みがあっても面白い。中小規模公園プロジェクトなどに関わってもできるかと思う。（入江会長）

⇒フリーマーケットは一部で行っている。（事務局）

会議の結果

**【区民の活動について】**

・施策体系3 みんなでみどりを育み、大切さを伝える（資料2 P29）は既にかなり充実した取り組みが行われているという印象である。2）啓発事業の推進のような企業の方や区民の主体的な動きについて、育樹とか、区民の方が自ら作る活動について示したい。多様な主体と連携した緑化というだけでなく企業が、既に区民とコラボしているという気運が生まれている中で、行政に頼らず行われている活動の事例をうまく入れられると良い。育樹や農縁プロジェクト、公園で皆さんがやっている活動、苗木を作って色々なところに発信していく、などの進捗が伝わるよう、既に行われている積極的な動きを支援していく、またはつなげていくという書き方がよいと思う。農縁とか学校の緑縁とか、みどりを通じて縁をつなぐというようなことを意識していると感じたので、そういう書き方を表に出していけば良いと思う。（竹内副会長）

⇒公園の園を使って〈園結び〉とか、〈共育〉と書いて〈きょういく〉などはどうか。環境教育などにも使えると思う。今回の豊島区みどりの基本計画策定にあたっての新たなキーワードを、みなさんも持ち帰ってアイデア、ネーミングを考えていただけると良い。（入江会長）

**【アプリの活用について】**

・施策体系3 みんなでみどりを育み、大切さを伝える（資料2 P29） ③としまいきものさがしの実施、⑩活動参加を促進するPRの推進につながる話で、前回の議論の中で情報が区民の方に伝わりきれてないという区民委員のご意見があった。既存の公園アプリは他の区の情報と一緒に検索できるアプリであり、豊島区独自の情報アプリがあると良い。茨城県守谷市の「いきもの調査隊」の活動の中で、市の情報の他に、バイオームというアプリを使って子供たちが昆虫や植物の写真を撮ると、AIで種名を判定し、位置情報も記録できるといった進んだことを行っている。今後、例えばフォトコンテストなど、写真を撮って投稿すれば参加できるという気軽さが必要かと思う。豊島区は20代後半が人口割合的に5割以上との統計があり、学生、社会人を含めてどの世代も参画しやすい、イベントなどの情報を得やすい媒体があると良い。（沖委員）

⇒公園の情報発信という意味でアプリは海外や日本でも取組が始まろうとしているところ。予算もあると思うが企業連携や大学連携の中で新たなアプリ開発が生まれると利活用が進むと思う。デンマークに留学の機会があり公園独自のアプリを利用したが、スケジュールを利用者が見られたり、申し込みもできるようになっていた。豊島区でもアプリで予約が取れたり混雑状況などが見える化すると公園の満足度がより上がると思う。（入江会長）

⇒端末を使って情報をやりとりすることはこれからの時代において当然取り組むべき問題であり、今後強力に進めていきたいと思っている。前回の委員会で特定の公園に保育園の子供たちが集中しているという問題についても、アプリを使っていただいて自主的に動きを調整できる仕組みができるとよい。研究対応していきたい。（事務局）

⇒「としまいきものさがし」は環境清掃部で実施している事業だが、アプリということでは遅れている状況。予算の関係もあり、なかなか厳しい部分があるが、先程守谷市の例も教えていただいたり環境省の検索システムもあるので、どういうことができるか検討していきたい。（高桑委員）

# 審 議 経 過

No. 7

会議の結果	<p><b>【次回の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3回策定委員会は5月下旬を予定しており、日付、時間は改めてご連絡する。(事務局)</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
-------	--

提出された資料等	<p>資料1 第1回策定委員会でのご意見を踏まえた主な検討事項</p> <p>資料2 第2回策定委員会資料</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 みどりを取り巻く課題</li> <li>2 基本理念</li> <li>3 みどりの将来像</li> <li>4 計画の体系</li> <li>5 計画の目標</li> <li>6 基本方針             <ul style="list-style-type: none"> <li>隣接区とのみどりのネットワーク図</li> <li>豊島区将来ネットワーク図</li> </ul> </li> <li>7 施策体系             <ul style="list-style-type: none"> <li>参考：主な取組のイメージ</li> </ul> </li> </ol> <p>参考資料1 豊島区の概要</p> <p>参考資料2 豊島区のみどりの現状</p> <p>参考資料3 豊島区のみどり率の推移</p> <p>参考資料4 公園の誘致圏</p> <p>参考資料5 既往調査（区民意識調査）におけるみどりに関する意識の変化</p>
その他	